

# ここが聞きたい!!

4名が登壇

## 核兵器廃絶へ 首長として努力を!

広田清晴 議員



**問** 2015年核兵器廃絶NPT再検討会議に向け機運の盛り上げとして平和の美術展、コンサート、核廃絶署名等一致点での共同行動の拡大を求める。

**答** 私たちは、世界で唯一の被爆国民として核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の意義を世界に訴えていかなければならないと思っている。啓蒙啓発活動に取り組んでまいりたいと思っている。

**要請** 現在日本国内には「核の傘論」自分たちは米国の核兵器で守ってもらっているとの

誤った認識が蔓延している。このことの払拭が非常に大事。今議会で新町建設の見直しを提案されている。その点でも大事な課題と位置付け協議するよう求める。

**問** 漁港にトイレ等設置(町管理)している所は別にして自治会集会所のトイレを提供している所は経済的支援が必要。自治体の努力を求める。

**答** 釣り客等が集会所のトイレを利用した場合維持管理費が増加することは理解するが「自治会奨励金」で対応して頂きたい。

**要請** 現在人口減のなか、自治会奨励金は集落内防犯灯費などで消えている小集落対策として支援策を講じるよう求める。

その他、大島駅、柳井駅、岩国駅のバリアフリー化の推進のための努力(JR、関係市との協議の推進)原発問題を取り上げた。

## 公有地の維持管理をどう考える

小田貞利 議員



**問** 本来、町道、漁港等の維持管理は、陳情の有無に関わらず、計画的に対応してゆくべきでは。

**答** 町道の維持管理は、住民からの通報・要望に対し、緊急性・重要性を考慮し対応。現在は年一回の草刈りまたは除草剤の散布を行っているが、全路線での対応は厳しい。

漁港の補修や修繕は、要望や陳情の有無に関わらず実施して

いるが、全施設に目が行き届かない場合も多い。国庫補助事業で、全漁港の全施設に対し維持管理補修計画を策定しているので、今後は適切な維持補修が実施できる。日常管理の労力・費用軽減のため、漁港施設用地の舗装も漸次実施していきたい。

### 人材育成に努力を

**問** 現在、アジア諸国の発展は目ざましい。農・漁業面からも観光面からも、注視が必要。

積極的に公費助成を行い海外に視察を促し、本町将来のための人材育成に努めるべきでは。

**答** 職員の人材育成を重視している。海外における研究や研修等を通じ国際的な感覚に富んだ人材育成が必要である事から、自治体国際化協会の『地域国際化を担う自治体職員の海外研修』について研究している。



待たれる波止場の改修